

人道の港 TSURUGA Refugee Day

難民のために 私たちが できること

参加者
募集

ワーク
ショップ

～知るからはじまる
One More Step～

第二次世界大戦中、東ヨーロッパから「命のビザ」を携えたユダヤ難民が上陸した港、敦賀。この夏、国連機関と連携し、敦賀市内の小学5・6年生を対象に「もし自分が難民になったら」という体験等を通して世界の課題を学ぶ参加型のワークショップを開催します。現代の難民問題に目を向け、自分たちにできる「One More Step」を考えます。

2025年

8月11日(月・祝)

第1回目：9時30分～11時30分

第2回目：13時30分～15時30分

※同内容のワークショップを2回実施します！

場所：人道の港 敦賀ムゼウム 研修室

対象：敦賀市内の小学5・6年生

定員：各回25名(合計50名)

※運営および会場の広さ等の都合により、保護者の皆様のご見学はご遠慮くださいますようお願いいたします。

内容

前半 セミナー

- 難民について知ろう
国連UNHCR協会
- 難民の方からお話を聞こう
難民当事者(大学生予定)

※前半と後半の間に休憩あり

後半 ワークショップ

神田外語学院・福井大学・金沢大学 学生
(敦賀高校創生部卒業生)

- 4つの参加型アクティビティ
- まとめ「私たちにできるOne More Step」

ワークショップを運営する神田外語学院
の皆さんからのビデオメッセージ

入国審査を体験したり
難民が使うボートに
乗ったりするよ！

やさしい
英語も使って
みるよ！



要

事前申し込み
申し込みはコチラ→



※当日はメディアによる取材に加え、記録用として写真および動画等の撮影を行う予定です。撮影した写真および映像につきましては、当館の公式ウェブサイトやSNS、広報等に使用させていただく場合がございます。

企画：特定非営利活動法人 国連UNHCR協会、UNHCR駐日事務所、神田外語学院 こども英語教師養成科
お問い合わせ：人道の港 敦賀ムゼウム Tel.0770-37-1035

※敦賀市は2022年に国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）と自治体との連携強化を目指す「難民を支える自治体ネットワーク」に署名しています。

人道の港

敦賀ムゼウム